

平成27年度 設楽ダム森林資源有効活用検討業務

委託元:国土交通省中部地方整備局設楽ダム工事事務所 調査実施:(公社)東三河地域研究センター

目的

・本業務は、設楽ダム建設事業により発生する森林資源について、関係行政機関協力のもと、森林伐採による木材市場への影響と地域振興を考慮し、森林伐採及び非有価木処理の実証実験計画を検討し、設楽ダム森林伐採計画(案)を作成することを目的とする。また、関係行政機関からなる「設楽ダム森林資源活用プロジェクト会議」の会議資料作成及び運営を行うものである。

調査結果の概要

全体伐採計画(案)等の検討結果

伐採計画(案)の検討

伐採計画基礎データの作成

・常時満水位以下を対象に250mメッシュを作成し、各メッシュ毎に地形・地質、幹材積量等を整理した基礎データを作成

伐採方法等

・伐採面積等 241ha、全木集材・皆伐方式
・伐採年数 7年間平準型
・傾斜度20度を基準とした伐採方法の選択
(急:架線集材/緩:グラップル)・荷下げ方式等

伐採場所の優先順位(案)

・年次別伐採計画(案)を250mメッシュデータを活用し、優先順位として、土捨場・原石山に繋がる搬入路、ダムサイトと原石山を結ぶ道路、現道がある場所、現道がない場所等の視点から作成

発注仕様等の検討

発注仕様等

・基本は単年度契約で、D材の販売契約は複数年を検討
・伐採・検収・販売に業務分割した発注
・材の規格・品質等を踏まえた柔軟な発注方法の検討
(一括直販売方式・立木での販売)等

実証実験内容の検討結果

個別目標に対する地域振興の検討

【発注方式】

伐採

急傾斜地

緩やかな地

集材・素材分別
チップ化

検収

販売

(一括直販売方式、立木での販売等)

[A] [B~C] [D] 材

[特A,A材]

契約年数

【非有価木の利活用】

前処理工程
(チップ化)

付加価値化工程
(乾燥化)

前処理工程の効率化、低コスト化

前処理工程
(枝葉の収集)

付加価値化工程
(精油抽出化)

非乾燥型の利活用用途の開発

効率的な大規模皆伐や非有価木の利活用に関する実証実験

実証実験候補地の選定